



# 最新型洗車機を導入

## 作業負担減&時短

### 熱海運送

【福島】熱海運送（佐藤洋社長、福島県郡山市）は、全自動型の大型洗車機を5月末に導入した。従来のスプレー式や手洗いによる作業負担を軽減して労働時間の改善を図り、安全運行の確保につなげていく。

1台当たり4分で洗車可能

洗車機は、ダイフク社製のトラック・バス専用の最新機。従来機より洗車能力が向上し、使用水量は1台当たり190リットルで非節水タイプに比べて半減した。郡山市内に本社を置くトラック運送会社では初めての導入で、4分で洗車を終えることができる。

本社物流センター内に設置。自走式で、2ト車から4ト、大型、トレーラの全てに対応できる。安全のため

様々なセンサー機能を搭載しており、サイドミラーを折り畳まずに洗車が可能な。オプションとしてサイ

ド下部に洗浄装置を取り付けた。チルドノズルで高圧水を吹き付け、融雪剤や泥なども奇麗に洗い落とせる。

これまで、市内数カ所の給油ステーションで洗車契約を結んでいたが、利用率が低かったことから、社内への設置を決めた。佐藤社長は「安全確保へ

の取り組み強化の一つ。洗車作業を省力化・短縮化することは、労働時間の改善にもつながる。働きやすい職場環境は、人材採用にも直結する。今後も、安全のための設備投資を積極的に行っていく」と話している。

（富田久男）